BE KOBE

神戸市立高校　「ミライ図」

～魅力倍増に向けて～

KOBE MUNICIPAL HIGH SCHOOLS

2026年11月

神戸市教育委員会

神戸市立高校　（全日制５校、定時制３校）

BE KOBE

全日制



六甲アイランド



科学技術



葺　合

定時制



神戸工科



神港橘



須磨翔風



摩耶兵庫



楠

市立高校（全日制５校）志願倍率の推移（2026年度入試）

BE KOBE

	学校	課程	募集定員	志願倍率		
				2024	2025	2026
推薦入試（2月）	六甲アイランド	普通（単位）	180	1.38	2.11	1.80
	葺合	国際	80	1.16	1.04	1.31
	須磨翔風	総合学科	140	1.41	1.81	1.36
	科学技術	4学科計	180	1.68	1.56	1.74
	神港橘	みらい商学	160	1.17	1.25	1.19
	市立高校合計	ー	740	1.39	1.62	1.52
	県立高校合計※	ー	1,260	1.23	1.26	1.11
一般入試（3月）	六甲アイランド	普通（単位）	180	1.43	2.02	1.56
	葺合	普通	280	1.06	1.18	1.21
	須磨翔風	総合学科	140	1.24	1.81	1.44
	科学技術	4学科計	180	1.36	1.32	1.31
	神港橘	みらい商学	160	1.11	1.22	0.99
	市立高校合計	ー	940	1.22	1.47	1.29
	県立高校合計※	ー	3,868	1.10	1.05	0.99

※県立高校は神戸・芦屋市内の全日制高校の合計

なぜ今、市立高校改革なのか

社会環境の大きな変化

- 高校授業料無償化の拡充
- 公立高校志願倍率の低下
- AI・デジタル技術の急速な発展
- 産業構造の変化
- 人口減少・少子化の進行

↓

- 国：N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想
- 市：有識者会議、総合教育会議

↓

市立高校の存在意義を明確化

高校の役割

BE KOBE

私立高校

- それぞれの建学の精神に則り、独自の教育を展開

県立高校

- 幅広い高校生に対して、体系的な教育機会を平等に保障

市立高校

- 地域に最も近い存在として、ニーズに応じた教育を展開

神戸市立高校の強み

BE KOBE

アクセスの良い立地

- 全校が、駅から徒歩圏内

大都市ならではの多彩な地域資源

- ものづくり、医療、港湾、大学等の集積

豊富なバリエーション

- 工業、商業、国際など
  各校の特色に応じた
  多様なカリキュラム

基礎的自治体としての地域との関わり

- 神戸市立小中学校との連続した教育
- 地域との相互協力関係

KOBE NEXT LEARNING



未来の学びの先駆けとなる神戸市立高校へ

目標：生徒一人ひとりの進路の可能性を広げ、
学校生活の満足度を高める

計画期間：2027年度～2031年度

目指すべき3つの方向性

1. AI時代に活躍する
   グローカル・イノベーション人材の育成
2. 神戸の地域資源と連携した
   実用型教育の充実
3. 心地よく学び
   コミュニケーションが活性化する環境整備

目指すべき方向性を実現するための、４つの視点

1. 学科の再編や学習内容の充実
2. 教員の能力・資質向上
3. 施設・設備のリニューアル
4. 生徒数の減少に対応した適切規模での学校運営

視点1　学科の再編や学習内容の充実

1. 理数、AI 、データサイエンス教育の充実
2. 普通科改革
3. キャリア教育の強化
4. 学校間連携

1 理数、AI 、データサイエンス教育の充実

BE KOBE

「理数探究基礎」
開設

AI・
データサイエンス
教育充実

小中高一体で
理系裾野拡大





2 普通科改革

単位制導入

新学科検討

文理横断型の学び





3 キャリア教育の強化

地域

企業

大学

海外

・商工会議所等と連携した企業課題解決型探究学習の検討
・海外提携校や神戸空港海外就航都市と連携したフィールドワークやオンライン交流の充実





4 学校間連携

市立高校各校の特色ある学びへ相互参加できる仕組みの検討

- スーパーサイエンスハイスクール事業（理数教育）
- DXハイスクール事業（ICTを活用した学び）
- K-SMART事業（企業技術者による実習）
- 海外交流事業
- ビジネス実践事業

相互受講

単位互換

視点2　教員の能力・資質向上

1

外部人材の活用

→大学、企業等の

専門人材の力を取り入れる

2

探究活動の高度化に向けた

研修・勉強会の実施

→探究指導力の向上

3

各校の特色を深化させる

専門性の向上

→新たな研修制度の検討

4

小中高の連続性や生徒に

寄り添った丁寧な関わり

→切れ目ない学びの支援

視点3　施設・設備のリニューアル

見違えるような学校づくり

1 学習環境・設備の高度化



イメージ画像

2 学校空間の安全性確保・快適性向上



イメージ画像

1 学習環境・設備の高度化

これからの学びに向けた教育環境整備

- 探究ルーム
- ラーニングコモンズ
- ICT機器
- 専門機器
- 遠隔交流拠点


イメージ画像



イメージ画像


イメージ画像

2 学校空間の安全性確保・快適性向上

生徒同士のつながりや、主体的な活動を促す空間整備

体育館空調

実習室空調

交流空間

トイレ美装化

人工芝
グラウンド



イメージ画像


イメージ画像


イメージ画像


イメージ画像

視点4　生徒数の減少に対応した適切規模での学校運営

1. 生徒数減少を見据えた学級数の変動
2. 教員配置の最適化
3. 定時制昼間部の充実

持続可能な学校運営

神戸市立高校「ミライ図」

